

2023年8月8日

2022年度「市民防災・減災活動公募助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人ミラクルウィッシュ

代表者・役職名 氏名 代表 益田紗希子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

さかい親子防災部

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

東日本大震災による大きな被害を知り、「わが子を守ることができるのだろうか」と不安を持ち2014年に立ち上げたミラクルウィッシュの活動の一つとして防災活動が始まりました。2020年には法人化し兵庫・大阪と各地に防災部を立ち上げ地域の子育て中のお母さんと一緒に各地域に寄り添った防災啓発活動を行っています。会員は25名。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

日本各地で毎年起きている地震。
30年以内に80%以上の確率で起こる南海トラフ巨大地震に備えるために、大阪府堺市でも親子向けの防災啓発が必要だと感じています。
特に小さい子どもを持つ親は災害時に 情報面、物理面で弱者になりうる。
親が防災知識を身につけることで、自分と子どもの命を守れるようにして 一人でも多くの命を救いたいと考えています。コロナ禍でさらに関係が薄くなっている昨今。普段の生活から防災意識を高めてもらいたいと防災ノートを製作し、啓発活動時に配布する計画を立てました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

○子育て中の母親が子どもを連れていける場所として親子カフェモモ百舌鳥を拠点に防災講座や防災クッキング(ポリ袋クッキング)を年間2回行いました。(9月・7月)
○お出かけをしやすい時期には防災おさんぽをおこないます。親子3組で街を歩き、避難する時に危険な場所を確認しました。(11月)
○堺市北区の子そだてフェスタ(12月)に出展し防災に関心のない家庭にも防災啓発をするブースやステージでのデモンストレーションを行いました。
○ラジオ出演し、防災啓発のコーナーを4か月持たせていただきました。
○1年を通して、参加者やそれ以外のご家庭の方にも「さかい親子防災ノート」の制作を行い、防災啓発を自宅でも考えてもらい備えのキッカケを作ります。「さかい親子防災ノート」は各幼稚園や小学校へ配布していきます。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

「結果」

コロナの影響で、予定していた実施回数より少なかったものの、予定より多くの方に講座や防災クッキングに参加いただいたり、メンバーでの交流や、防災ノートの製作に時間をかけることができました。

「成果」

防災クッキングを「自宅でもやってみました」という声もいただきました。助成金で2,000部を予定していた「さかい親子防災ノート」ですが、部数を3000部に増やし各幼稚園への配布も行い、乳幼児の親子に届いています。ノートは「すごくわかりやすい」と評価をいただき、それぞれのご家庭が、災害に備えることにつながっています。

「効果」

堺市での活動を継続できたことで認知度がアップし、冊子の制作により、よりたくさんのご家庭に認知していただけるようになりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、人を集める活動がしづらかった。その影響で、計画が実施できない部分もありましたが、コロナ収束を向かえ、「さかい親子防災ノート」が完成し、たくさんの家庭に手に取ってもらえたことは本当によかったが、これから、更に啓発活動や講座を開催しながら、防災ノートを手に取ってもらえる仕組みを考えていきたいと思います。あと、一緒に活動してくれる堺に住むメンバーも増やしていきたいと思います。地域に住むメンバーが多いほど地域での活動が活発になると思います。行政や施設からの防災授業や出展の依頼がいただけるよう連携を図っていくこともこれからの課題だと考えています。

7. 参考資料：プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

